

もくじ

はじめに



あなたはどんな仕事に興味がある？ ----- 4

起業って何？ ----- 6

いま、起業をめざす人が増えている ----- 8

やりたいことを実現するには？ ----- 10

やりたいことを見つけよう ----- 12

これがやりたい！ 子ども・若者起業家に聞いてみた!! ----- 14

株式会社想いを創る 取締役社長 関本 創さん ----- 16

株式会社dr. henep CEO 緒方 勇人さん ----- 20

株式会社SOS 代表取締役社長 想空さん ----- 24

株式会社ゲムトレ CEO 小幡 和輝さん ----- 28

グーイー株式会社 代表取締役 余野 桜さん ----- 32

起業に興味が出てきたぞ ----- 36

日本と海外の起業事情 38

さくいん 39



はじめに

近年、AI（人工知能）の進化は目ざましく、社会が大きく変わろうとするなかで、日本国内の人口は年々減りつづけ、働き手の高齢化も進み、仕事にはより効率化・省力化が求められるようになりました。

今では、これまで人が行ってきた仕事の一部をAIやロボットが担うようになり、劇的に進化するIT（情報技術）があらゆる場所で活用されるようになり、仕事の「スマート化」が行われています。近い将来、多くの仕事がスマート化されることで、みなさんが「将来になりたい」と思っていた職業が、大人になるころにはなくなっているかもしれません。

そこで、これから必要になるのが、夢やアイデアを持ってみずから事業を起こし、仕事をつくっていくという「起業家精神」です。

今ある職業のなかから、将来自分が働く姿を思い描くことも大切ですが、これからの社会で必要になるような「新しい仕事」を自分で生み出すことも、大切な選択肢となるでしょう。そのための手段となるのが「起業」です。

この本では、子ども・若者世代で起業をした人のインタビューを読んだり、自分のやりたいことを考えたり、実現するための手段を学んだりすることで、「起業」とは何かを知ることができるようになっています。

みなさんがこの本を通じて、「起業」に関心を持つきっかけになれば幸いです。

あなたはどんな仕事に興味がある？



起業って何？

「起業」という言葉の意味

起業とは、「新しく事業を起す」ことで、起業をする人を「起業家」といいます。事業には、大きく二つの意味があり、一つは「社会的に大きな仕事」、もう一つは「生産・営利を目的とした経済活動」です。みなさんのやりたいことが、社会的に価値のあることでも、たくさん利益を上げることで、「起業」はどちらにも当てはまります。

起業に似た言葉に「創業」があります。言葉の意味としては同じですが、創業はどちらかという過去に会社を起こしたことを指す場合が多いようです。

スタートアップやベンチャー(9ページ)のように、新しい事業にチャレンジする場合にも「起業」をよく使うね

「会社員」か「起業家」か？

自分のやりたいことを仕事にする場合、それがどこかの会社の事業として行われていれば、その会社に就職するのも一つの方法です。では、会社員になるのと、起業家になるのとでは、どのようなちがいがあのか、右ページの表で確認しておきましょう。



そういえば「起業50周年」とは
いわないね



その場合は「創業」だね

会社員(正社員)と起業家のちがい

会社員(正社員)	起業家
会社が配属先を決めるので、自分のやりたいことができるとは限らない	自分のやりたいことを仕事にできる
仕事の成果のある・なしにかかわらず、毎月一定の金額が給与として会社から支給されるので安定している	仕事の成果に応じて収入が得られるが、仕事がないとマイナスになることもある
会社の規定で休みが決まっている。病気などで長期の休み(休業)を取ることは可能	休みを自分の裁量で決められるが、仕事の状況によってはまったく休めないこともある
失敗をしても、会社が一定の責任を取ってくれるが、内容次第では、処分されることもある	失敗はすべて自分の責任になる
すでに実績や信頼のある会社の名前を前面に出して仕事ができる	はじめたばかりだと実績もなく、仕事の信頼を得るために時間がかかる

これらは一般的な例で、すべての会社員や起業家に当てはまるわけではないよ

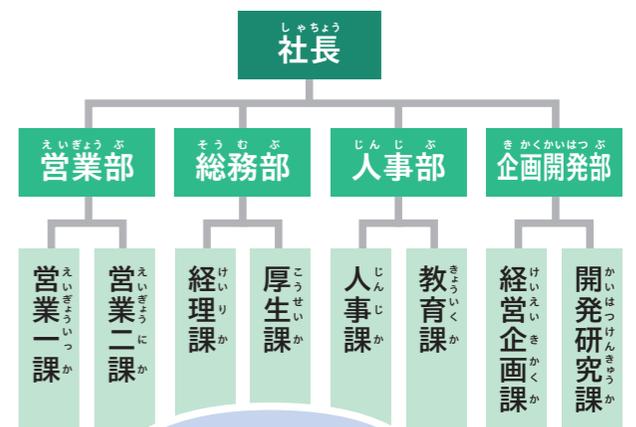


会社とはどんな組織？

会社は、社長をトップとして、その下にいくつもの部署(チーム)があり、またその下に部署があるといった、いくつかのチームの集合体(組織)です。

チームにはそれぞれ決められた仕事があり、会社に就職した人は必ずどこかのチームに入って、そのなかで与えられた仕事をこなします。もし別のチームの仕事がしたいと思ったら、チームの異動を希望して認められないといけません。

会社の組織の一例



起業するということは、いきなりこのトップに立つということ。もちろん一人で起業したら、一人ですべてをやるということになるよ

うわ、いっぱいあるね！
たくさんの人が働いているんだね

